

日本物理教育学会九州支部研究大会（講演会）
平成28年3月5日（土） 13:45-17:15
於：熊本大学理学部3号館 D201 講義室

主催：日本物理教育学会九州支部
共催：熊本大学理学部、日本物理学会九州支部
後援：熊本大学、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会
企業展示：株式会社ナリカ

13:45 開会の挨拶 巨海玄道 支部顧問
13:50 研究発表（発表12分・質疑応答4分：計16分）
座長：柴崎幸貴（1-4）、小島健太郎（5-8、特別講演）

時間	発表タイトル	登壇者	所属
	(1) 超伝導演示実験装置の改良と作製	大和太希	福岡教育大学大学院
13:50	(2) ヘルツの実験教材について	倉留天翔	福岡教育大学大学院
	(3) 電磁誘導を利用したばねによる単振動の周期測定	永野利徳	崇城大学
14:55	(4) 4次元時空間（複素数）とミンコフスキー時空間（実数）の差異	山本文隆	長崎県立小浜高等学校
14:55-15:15	休憩（企業展示もご覧下さい）		
	(5) 学習指導要領改定に伴う電磁気学の理解度調査	上野智哉	福岡教育大学大学院
15:15	(6) 基礎電子回路学習における学習者の誤解パターン	寺田貢	福岡大学
	(7) 小学生向け公民館講座から、高校の授業を見つめ直す	緒方則彦	長崎県立長崎北陽台高等学校
16:20	(8) 主体的な学びを求めて～アクティブラーニング型授業への挑戦	今村清寿	熊本県立第二高校
16:20-17:00	特別講演 重力波初観測を受けて：その成果と意義	佐合紀親	九州大学

17:00 表彰式
17:10 閉会の挨拶 福山隆雄 副支部長、市川聡夫 実行委員長
17:15 閉会